

バイオマス セミナー

農林系バイオマスの地産地消と
地域特性による循環モデル



in 和歌山

参加費無料

地域におけるバイオマス資源を利活用することにより、循環型社会の形成ならびに地域活性化を図るためには企業や自治体、大学等の研究機関が連携して取り組んでいく必要があります。

本セミナーでは、地域で発生する農林系バイオマス資源の回収から、効率的な活用技術の確立や地域内外での消費まで、バイオマスによる一貫した取組として、持続可能なモデル事例等を中心に紹介します。あわせて、パンフレット等の展示・配布による企業・自治体・大学の技術提案、取組紹介ならびに名刺交換会も開催します。

自治体・企業のご担当者をはじめ、ご関心のある方はぜひご参加ください。

日時

平成30年2月8日(木) 13:30~17:00 定員100名

場所

和歌山県勤労福祉会館プラザホープ4階ホールB
和歌山市北出島1-5-47

プログラム

- ▶挨拶 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部
- ▶基調講演
「廃棄する農林水産物を原料としたバイオマス利活用技術の実用化例
ー木質バイオマス発電、バイオプラスチック、セルロースナノファイバーなどー」
三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 教授 田丸浩氏
- ▶企業・研究機関・自治体による実践事例の紹介
「バイオマス資源が和歌山の未来を変える! 生活・安心・経済圏が生まれる!」
株式会社洸陽電機 代表取締役社長 乾正博氏
「シイタケなどの廃菌床のバイオコックスへの活用とセルロースナノファイバーの研究」
株式会社石橋 代表取締役社長 石橋幸二郎氏
「和歌山県産ユーグレナの発見と新たな活用技術の開発」
和歌山県工業技術センター 食品産業部 主査研究員 中村允氏
「日高川町の取組について~木質パウダー燃料によるエネルギーの地産地消~」
和歌山県日高川町 企画政策課 定住促進室長 西晃史氏
- ▶関連施策等の紹介
「バイオマス活用の推進について」
近畿農政局 経営・事業支援部食品企業課
- ▶事業報告
「次世代型バイオマス利活用技術に関する大学等知財活用調査普及啓発事業について」
近畿経済産業局 環境・リサイクル課
- ▶質疑応答及び名刺交換会
質疑応答は、講演者に対し、講演内容に関する疑問や自治体等が進めている取組についてご相談できる機会となります。名刺交換会では、参加者の方々がチラシやパンフレットを持ち寄り、展示・配布も行います。

バイオマスセミナー 和歌山

— 農林系バイオマスの地産地消と
地域特性による循環モデル —

参加費無料
定員100名

とき 2月8日(木) 13:30~17:00

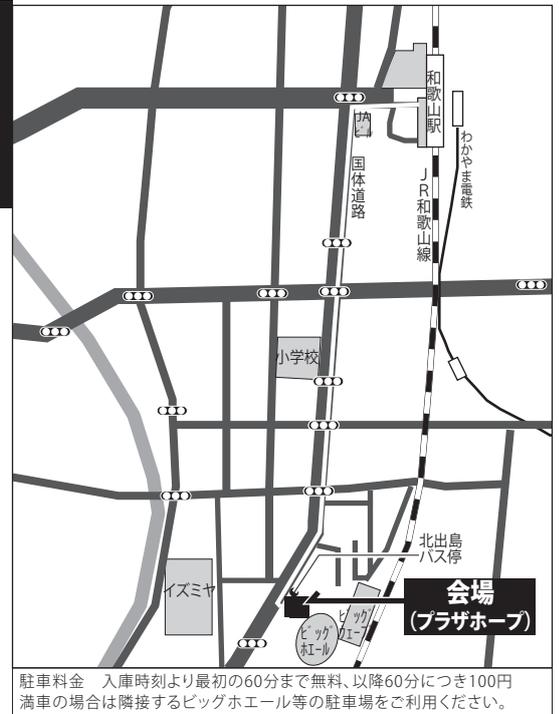
ところ 和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ
4階ホールB 和歌山市北出島1-5-47

アクセス ※ 有料駐車場あり

- JR和歌山駅より徒歩15分
- 和歌山バス「北出島」バス停からすぐ

※JR和歌山駅から 西口バスターミナル1番のりばから「北出島」停留所下車 約5分
40番系統・新小平経由 海南藤白浜 行 / 42-43番系統・新小平・琴の浦経由 マリーナシティ 行
44番系統・新小平経由 紀三井寺駅・医大病院 行 / 52・55番系統 雄松町三丁目経由 医大病院 行

※南海和歌山市駅から 8番のりばからJR和歌山駅経由「北出島」停留所下車 約15分
40番系統・海南藤白浜 行 / 42番系統・海南日限下 行 / 44番系統・マリーナシティ 行
52番系統・本町二丁目・JR和歌山駅経由 医大病院 行



駐車料金 入庫時刻より最初の60分まで無料、以降60分につき100円
満車の場合は隣接するビッグホール等の駐車場をご利用ください。

【出演者プロフィール】

■ 田丸浩氏 (三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 教授・博士(学術))

三重大学大学院生物資源学研究科博士課程修了後、カリフォルニア大学デイビス校研究職リサーチ・アソシエイト、三重大学助手、同助教授を経て2013年より現職。先端科学研究支援センター・バイオインフォマティクス部門長、2017年よりエコバイオフル株式会社CEOを兼務。研究テーマは未利用バイオマスからのバイオリアファイナリーに関する研究開発など。現在、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 バイオマスイノベーション研究会の副会長、みえバイオリアファイナリー研究会の座長を務める。現在、三重県御浜町などで、廃棄ミカンの燃料化(ブタノール)のプロジェクトに取り組んでおり、メディアからの取材も多い。

■ 乾正博氏 (株式会社洸陽電機 代表取締役社長)

本社は兵庫県神戸市。1993年に創業し、再生可能エネルギー開発、電力販売、工場や病院向けなどの省エネサービスを手掛ける。現在、森林整備などで出た木材を燃料にする小型木質バイオマス発電を、今後5年以内に全国20~30ヶ所に設けることを目指して事業を展開。現在、岐阜県高山市で稼働中。2月中には宮崎県串間市で運開予定。

■ 石橋幸四郎氏 (株式会社石橋 代表取締役社長)

本社は和歌山県日高郡印南町。ガソリンスタンドの経営のほか、和歌山県内の豊富な森林資源を活用するバイオ事業を展開。シイタケやエリンギを栽培し、使い終わった廃菌床を近畿大学大学院総合理工学研究科井田民男教授の技術によるバイオコークスに再生し、和歌山県有田郡湯浅町の近大マンゴー農場等に燃料供給を行ってきた。

■ 中村允氏 (和歌山県工業技術センター 食品産業部 主査研究員・博士(工学))

和歌山県工業技術センターでは、ミカンやウメ、モモなどの農産物や、森林など、県内企業等が保有する植物由来未利用資源を「地域資源」としてとらえ、活用するための研究を行っている。中村氏は、産業活用が期待できる微生物を探索する取組の一環の中で、これまで報告されているユーグレナよりも増殖が速いユーグレナの新規株「Kishu株」を発見し、新たな活用技術の開発に取り組んでいる。

■ 西晃史氏 (和歌山県日高川町 企画政策課 定住促進室長)

和歌山県中部に位置する自治体で、人口は約10,000人。林業振興、再生可能エネルギーへの転換による二酸化炭素排出削減を目的に木質バイオマス利活用に取り組み、2009年度より木質バイオマスを活用した木質パウダー燃料燃焼ボイラーを町営温泉施設に導入し運用している。

お申し込み方法 (締切 2月5日(月)まで)

ホームページアドレスより入力いただくか、下記の申込欄に必要事項を記入しFAX (06-6944-8736) 送信してください。

ホームページアドレス <http://www.dan-dan.com/w-biomass/>

事業所名		TEL	
所在地	〒	Eメール	
参加者	お名前 _____ 部署・役職 _____		
	お名前 _____ 部署・役職 _____		
バイオマスビジネスについて出演者に聞いてみたいこと	※質疑応答の際、出演者の方々よりアドバイスいただけます。(どんなご質問でも結構です)		
名刺交換会におけるチラシ等の持参 ※a. b. いずれかに○	a. 持参を希望する → ※ご持参いただくものを下記にご記入ください。(後日事務局がご連絡して確認いたします) b. 持参を希望しない		

問合先 バイオマスセミナー事務局 (株式会社ダン計画研究所内)

TEL 06-6944-1173

E-Mail biomass@dan-dan.com

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する事務処理、主催するイベント及び各種支援策の案内のためのみに利用します。承諾なく第三者に提供することはありません。